

- ・巻頭コラム(杉浦良)
- ・お知らせ(香川の大学生研修。香川から見学、大学生ボランティア)
- ・スタッフ雑感
- ・ご協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

213号/2026.6

Since 1984

「うーん・・・ただでは働けんなあ・・・」

杉浦 良

「あんな・・・昔働いとった会社は、社長が夜逃げしたんよ・・・従業員は困るわな・・・わしは途中で辞めたから良かったけど・・・おったら大変やった・・・何で社長一人逃げたんやろうか？従業員は給料ももらえんと困っとるわ・・・」

作業中にそんな言葉がAさんから出ました。

「会社も商品が売れんかったら利益も出んし、銀行からお金を借りとったらお金を返さんといかんし、どうにもこうにも遣り繰りできんかったと違う？」

「ほんでも働いとったら、給料がもらえるのは当たり前や！給料出さんと、逃げた社長が悪い！」

「Aさんの言う通りだけど・・・でもその会社、売上げが伸びんかったのとちがう？外国から安い品物が入ってきて、会社の品物が売れなくなったんじゃないの・・・」

「でもな、会社の品物は人気があるし、みんな一生懸命仕事しとるし、何でや？」

「じゃあ、もし同じような品物が半額で入ってきたら、いくらAさんが一生懸命仕事していても、Aさんはどっちを買う？」

「ほら、安いほうに決まっとるわ・・・」

「そうだろ？よほど味が違ったり、美味しかったり、長く使えたり、ブランド品だったりすれば倍額で買う人もいるけど、普通は安い方を買うわ・・・」

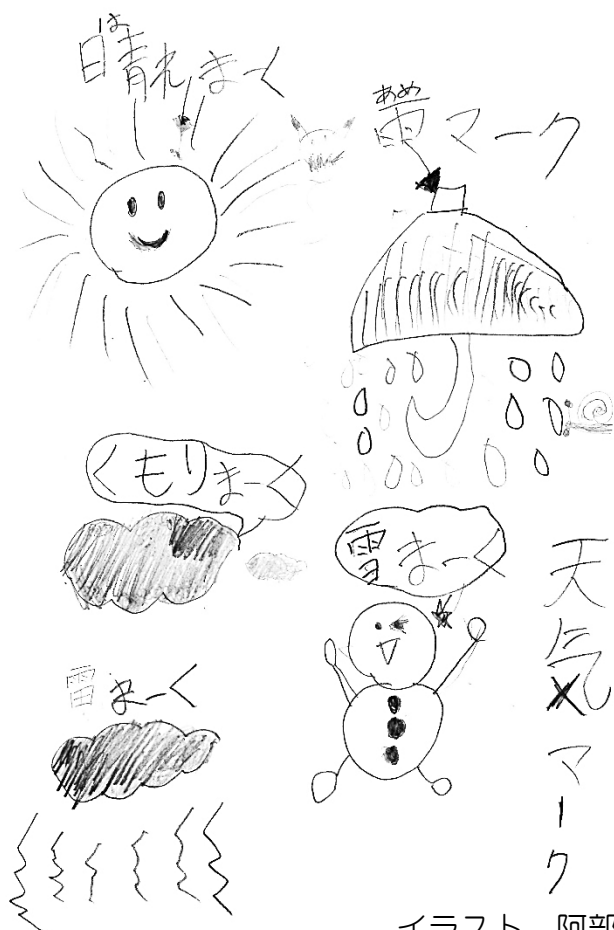


イラスト 阿部君

「難しいなあ・・・」

「ここだって、Aさんが自転車のパーツ交換や磨きを一生懸命しても、買ってくれる人がいなければAさんの給料にはならないわけ・・・1台の自転車を1日かけてピカピカにしても、5千円のリユース自転車を1万円で買ってくれる人はおらんよ・・・だけど錆もひどくて汚れているのを、錆を落としワックスを掛けてきれいにしたら5千5百円で買ってくれる人はいるな・・・」

「・・・難しいな」

「タイヤがすり減っていたり、パンクしたり、ライトが点かんかったり、カゴが破れていたたり、サドルが破れていたたり、リフレクターが割れている自転車は買ってくれんし、ブレーキが利かんかったりチェーンが伸びたり、クランクやハブやステアリングのガタがあったり、リムの振れがあったりしたら、買ってくれた人に怒られる・・・でもタイヤとチューブ、ライトとカゴとリフレクターを中古パーツと交換し、ブレーキ調整、チェーン張り、クランク・ハブのグリスアップ、ステアリング等のガタの調整をし、リムの振れ取り修理をしたので、修理パーツ交換代1万円と自転車代5千円、合わせて1万5千円で買ってくれる人はいないだろうな・・・」

「うーん・・・難しい・・・」

「Bさんが、スポークが折れリムがガタガタになって、修理代1万と言われたと言ってたけど、普通はそのくらいかかるわけ・・・自転車屋さんも給料なしで働けんよ・・・」

「この自転車はもう出来てる！（パーツ交換と錆落としが完了している）」

Aさんの言葉です。

「Aさん・・・これは残念ながら解体・パーツ取りだな・・・リアフェンダー、チェーンとディレーラープーリーとリアギヤ交換だわ・・・このチェーンは中古パーツがないので新品交換せんといかんし・・・せっかく錆落としをして、虫ゴムは新品交換してくれたけど・・・ここでの販売価格を考えたら、Aさんの給料を払えんようになる・・・」

「うーん・・・ただでは働けんなあ・・・」

Aさんがつぶやきました。

資本家と労働者、経営者と雇用者、管理者と使用者、運営者と従業員など、二元論で語られがちな今の世の中で、特定非営利活動法人として、代表だったり、理事だったり、所長だったりしながら、経営者・管理者・運営者でありながら、労働者・雇用者・従業員としての役割をも引き受けなければならない今日的課題、その大変さと難しさを思います。

お知らせ

香川の大学生研修

2月22日、富島教授の講義で、福祉ドキュメンタリー映画「そっちやない こっちや」(1982年113分 柳澤壽男監督)を見て、太陽と緑の会で研修するプログラムに、四国学院大学の学生11人(風邪で1人欠席)が参加しました。

太陽と緑の会の42年目になる活動を、パワーポイントの画像を見ながら説明させて頂きました。徳島県に作業所が一つもなかった42年前、日本で精神障害という言葉が生まれたのが30年程前、発達障害などという言葉はここ10年程の言葉です。

柔軟で、固まっていない学生たちに、いろいろ感じてもらえたようで、今回は特に、読み応えのあるヴィヴィッドなレポートを届けてくれました。

富島先生と11名の学生達に感謝です。

香川から見学

3月13日、香川県丸亀市の精神保健ボランティアグループ「もえぎの会」が研修に来られました。パワーポイントで画像を見て頂きながら、42年に渡る活動の歩みをお話しました。随分端折りながらの話になったにも関わらず、13人の方々の熱心さがこちらにも伝わってきました。

お昼ご飯を「ハートランドあっぷる」で食べる関係でバタバタの研修となりましたが、「今度はゆっくり買い物に来るね!」と、お買い上げ頂いた子供自転車をマイクロバスに積み込むパワフルさに、脱帽です。有難うございました。

大学生ボランティア

四国大学4年生のTさん(2/13~2/22)、Bさん(2/14~3/22)が当会の活動にボランティアとして参加して下さいました。フットワークよくいろいろな作業に取り組んで下さいました。

「ボランティア活動に参加することで単位を修得することができる」という大学のプログラムの一環で、これまで6年間で8名の学生さんが来て下さいました。これも何かのご縁ですので、活動を通じていろいろなことを感じて頂けたら幸いです。



四国学院大学研修

柳澤監督のフィルムを 頂きました

2月25日、久しぶりの雨の中、当会の松村理事と京都を訪れました。昨年11月に逝去された柳澤監督の奥様（磯田充子さん）の御意志により、作品を太陽と緑の会で保管管理することになりました。16ミリのフィルムとDVD、当時のパンフレット等、監督亡き後、書家として活動される傍ら、作品を引き継いでこられました。

「すぎちゃん！監督さんの作品はあなたに任せるから・・・」

荷が重い言葉を、何年も前から言われていました。

「ぼくの中の夜と朝」（1971年16ミリ100分）には、国立西多賀病院病院長として、太陽と緑の会創立者近藤文雄が出てくるだけでなく、監修もしています。

「甘えることはゆるされない」（1975年16ミリ105分）も、近藤文雄が監修しています。

「そっちやない こっちや」（1982年16ミリ113分）には、指導員として私が出てきます。

よくよく考えてみれば、福祉ドキュメンタリー5作品のうち、3作品は太陽と緑の会関係者が関わっていることになります。

とりあえず、引き継ぐことになりましたが、カセットテープやVHSテープ、写真や資料関連は、神戸映画資料館の安井館長が引き受けてくれました。柳澤壽男作品が次に引き継がれるよう、やれることをやりたいと思います。

頂きました

お客様から令和7年産の玄米を頂きました。市民の皆様から頂いたおコメは、メンバーさんの昼食で使わせて頂いたり、生活が大変なメンバーさんに配らせて頂いたりして、活用させて頂いています。本当にありがとうございます。

フードバンクとくしまさんから、色々な種類のドレッシングをたくさん頂きました。必要なメンバーさんに配るとともに、「ハートランドあっぷる」にもおすそ分けしました。有難うございます。

フードバンクとくしまさんから、エッグフリープレーン1箱とポカリスウェット2箱を頂きました。ポカリよりお米が良い人にはお米を、それぞれGW休み前にメンバーに配らせて頂きました。有難うございました。

（車で持って来て下さったので、お帰りの際に、回収で頂いた令和6年産玄米30キロをフードバンクさんにお渡し致しました）

保険で色々お世話になっているSさんから、たくさんジャガイモを頂きました。

ジャガイモは北海道で不作ということもあり、高値が続いています。そんなご時世での有難いプレゼントです。昼食のカレー用にさっそく使わせて頂きました。有難うございました。

スタッフ雑感

回収日誌

1月3日

年明け最初の回収、今年は1月3日から太陽と緑の会は活動を開始ということで、例年ならまだ冬休みのはずのメンバーさんたちは正月気分が抜けきらないのか、あまり動いてくれないが、回収依頼は待ってはくれないので、兎にも角にもメンバーさんと回収に出発。

軽めの作業量で回収を組んでいたとはいえ、休み明けには少しきつそうではあったけど、何とか予定していた回収をこなして無事帰着。今年も回収の日々が始まった。

1月某日

去年から持ち越していた回収依頼に今日やっと一区切りつけることができた。ご両親が亡くなって空き家になっていた物件の整理ということでお引取りできるものは何でも持って帰ってくれという依頼だったが、物量が多く一回の回収では積み切れず、去年から何度もお伺いさせてもらっていたが、なかなか片付けられず、本来なら年内でという事だったが、無理を言って年明けまで待っていただいただけに、一応終わらせることができて一安心できた。

3月某日

とはいうものの、空き家の片づけに伴う回収依頼はまだまだ何件も抱えている状態。この2、3年、そういった依頼が増えてきている。

高齢のため施設に入所するから家を片付けたいとか、長年空き家だったが取り壊すためとか、リフォームするために不用品を処分したいとか、理由は様々だが、そんな大型回収の依頼を常に数件抱えている状態をここ数年続けている。

回収中に徳島のあちこちをトラックで走っていても、いつの間にか更地になって歯が抜けたようになっている住宅地や、いつも目印にしていたコンビニが気づいたら月極駐車場に変わっていたりする様子を目にすることが増えてきた。

そんな光景ばかり見ていると先行きに不安を覚えたりするが、そんな中、新しい住宅が建っているのを見かけると、何となく安心してしまうようになった。冬ももう終わりだ。

5月某日

先日、回収に伺った所が、一年くらい前に回収に伺わせてもらったご近所さんから紹介を得て当会に依頼してくれていたそう。道一本挟んで地名が変わっていたため気づかなかったが、ちょうどお向かいさん同士で、その日も依頼先のおうちの回収作業を終えた後、寄らせてもらって色々回収させて頂いた。どんどん家じまいをみんながしていってる昨今、こんな縁があると暖かい気持ちになる。こういった「他生の縁」みたいなのを今後の回収活動でも大事にできればと思う。

(専任職員 松村尚俊)

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2026 年 2 月 1 日～2026 年 3 月 31 日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

米田、匿名、亀倉、福井、匿名(郵便振替口座) 豊崎、三代田、榎本、内原、匿名、清田

品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○美馬、佐野、小谷、いえみせ、よいこ、武田、笠谷、長江、藤原、阿部、森、兼元、中村、新見、郡、前田、溝渕、木村、原、行重、宮内、湯浅、瀬尾、朝日、大野、佐野、上久保、伊澤、荒木、野々瀬、本田、武岡、市橋、米澤、宮本、井坂、磯口、吉富、塩田、貝出、日高、村山、久米、西浦、坂東、岡田○神山町○河野○北島町○舟越○鳴門市○小川、正木○吉野川市○津村○小松島市○栗本○板野町○梶原○石井町○村本、田中、中原、中村、坂東○藍住町○木内○その他○かしのき

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○川崎、桑村、宮越、中西、松本、中川、戸出、美馬、加藤、近藤、山西、浮津、波里、シカタ、中津、松本、豊田、岡田、宮田、横田、岡島、佐藤、斎藤、広野、明松、島、濱田、NPO 法人 あいの里、伊川、大櫛内科、蔭川、小笠、米澤、片山、木内、田中、松浦、一宮、大村、山下、高木、戸田、野中、深川、多田、廣瀬、松浦、宮本、吉成、大北、矢本、後藤、宇治製菓、吉野、若草幼稚園、吉田、宮越、菅沼、小笠、大栗、和泉、青山、下泉、出口、小倉、大久保、蔭川、貝出、松島、佐々木、中村、豊桑、鎌田、応神小学校、河野、大櫛内科、山崎、宮崎、古川、小野、浅田、北野、山田、鈴木、吉成、宮本○石井町○一宮、大村、奈良○北島町○井上、山本、磯ヶ谷、北島、田村○鳴門市○米田、楠木、久龍、金岡○板野町○近藤○吉野川市○田村、工藤○小松島市○森○藍住町○谷、阿部、花木

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。旬のお野菜や果物(人参、小松菜、ジャガイモ、キャベツなど)を持って来て下さった皆様、お飲み物やお菓子を下さった皆様も有難うございました。お野菜は作業所の食材として大切にに使わせて頂いております。諸物価が高騰している中、本当に有難いです。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられます。頂いた品物は大切に活用させていただきます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

※本誌へのお名前の掲載を希望されない場合は「匿名希望」とご記入頂ければ幸いです。

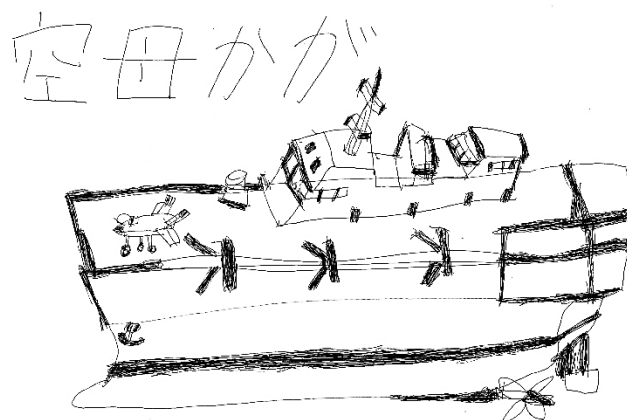


イラスト 藤田さん

定休日

6 月 June

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				
31						

7 月 July

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8 月 August

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9 月 September

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

※白抜き数字の日がお休みの日です

ホームページ、SNS での告知の他、店頭でお休みのカレンダーを配布しています。

「働き方改革」という時代の要請で、当会も以前よりお休みの日を多くさせて頂いております。当会をご利用頂く皆様にはご不便をおかけすることになるかと思いますが、宜しくお願い致します。

※前号掲載のお休みカレンダーの内容を一部変更致しました。本号掲載のものが最新版となります。

編集後記～働き方改革

休み明けの木曜日の午前中は駐車場が混雑し、お客様が多いです。物価高騰の折、少しでも安いものを探しに来られているお客様も少なくないかもしれません。

「様々なハンディをもったメンバーが通い、働く場所が、地域社会から必要として頂けている」ということは本当に有難いことです。

レジが混雑している様子を見て「繁盛してるな」などと言われるお客様もおられます。ただ実際は 50 円、100 円、200 円という品物を買われるお客様が多く、レジがバタバタしているだけで、現実はなかなか厳しいです。「(100 円の品物を)50 円にならん?」「150 円やったら買うけど、200 円やったらいらん」と 50 円刻みでのせめぎあいの日々です。

休み明けの木曜日の午前中はお電話も多く、10分おきにかかってくることも…

「今日はいいてますか」

「はい、午前 10 時から午後 6 時まで活動しております」

「いつ来ても休みやから、廃業したんかと思ったわ」

「働き方改革」という時代の要請に鑑み、長期のお休みも取らせて頂くようになりました。月曜日火曜日(毎週ではありませんが)お休みすることがあり、「やっと来れたわ。火曜日しか来れんのだよ」とおっしゃるお客様もいらっしゃって、本当に申し訳ない気持ちになります。

別のお客様にそのお話をさせて頂いたところ、「NPO でも(「働き方改革」とか)関係あるんやね」と驚かれていました。

「ボランティアの方は無償(給料ゼロ)で活動に参加してくれているのだから、(安いとはいえ給料を頂いている)有給のスタッフが休み返上や夜なべ仕事をするのは当然」という、黎明期(ないないづくしの時代)の無認可小規模作業所の常識も、令和の時代ではただの「ブラック」とみなされ、とても通用しません。

たとえ公的支援が少なかったとしても、十分とは言えない待遇を「活動への思い」「活動から得られるもの」で補うというあり方は、「やりがい搾取」というレッテルを貼られて、厳しく批判される時代です。

昔は昔の、今は今の「かじ取りの難しさ」があります。

少子高齢化により人手不足に陥る中、「割のいい仕事」に人気が集中し、「しんどい割に報われない仕事」はますます敬遠される傾向にあります。売り手市場において、少しでも条件の良い方へとシフトしていくのは、ある意味当然のことかもしれません。

日本人から敬遠された仕事の一部は外国人の方が担っています(今に始まったことではありませんが…)

働く人の26.5人に1人は外国人の方です(就業者数約6828万人(2025年平均) 外国人労働者数約257万人(2025年10月)(前年比11.7%増)厚生労働省資料より)。その数は年々増え続けており(過去18年間で約5倍、特に直近の3年間で約1.4倍)、太陽と緑の会でも、リユース自転車を買いに来られる外国人のお客様が増えてきています。

彼らの支えがなければ、日本の社会が成り立たなくなっているのが現実です

この先、さらに少子高齢化が進んでいく中で、「(世の中に必要とされているけれど)割に合わない仕事」を誰が担っていくのでしょうか。

外国人労働者の方をさらに受け入れていくのでしょうか。(円安が続けば、他国に流れてしまう可能性もありますが…)

年金支給開始年齢を10年引き上げて、前期高齢者(65~74才)の方にも担って頂くようにするのでしょうか。

それとも「割に合わない仕事」を割に合うように変えていくのでしょうか。そのコストは誰がどのように負担するのでしょうか。難問が山積みです。(文責:小山)

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街づくり」をテーマに、ハンディのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く豊かであることを願っております。

発行:NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1

TEL・FAX 088-642-1054

代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎

ご協力者名簿作成担当メンバー 岡田

宛名シール添付担当メンバー 堀

製本・発送作業担当メンバー 岡田 福住

年会費：正会員 1万円 (総会議決権)

準会員 1,000円 (機関誌発送のみ)

郵便振替口座

01620-8-44703

加入者名：特定非営利活動法人太陽と緑の会